



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社いつも 上場取引所 東
 コード番号 7694 URL https://itsumo365.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 守
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO 管理本部長 (氏名) 杉浦 通之 (TEL) 03-4580-1365
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,638	—	491	—	505	—	357	—
2020年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2021年3月期第3四半期	77.13		71.16					
2020年3月期第3四半期	—		—					

- (注) 1. 当社は、2020年3月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2021年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。
2. 当社は、2020年12月21日に東京証券取引所マザーズに上場したため、2021年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2021年3月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 当社は、2020年9月4日付で株式1株につき20株の株式分割を行っておりますが、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,852		1,667		43.3	
2020年3月期	2,260		176		7.8	

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,667百万円 2020年3月期 176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,650	64.4	527	210.0	540	172.6	393	173.4	80.81	

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
2. 2021年3月期(予想)の「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2020年12月18日に払込の公募増資800,000株及び2021年1月20日に払込のオーバーアロットメントによる第三者割当増資210,000株を含めて算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3Q	5,400,000株	2020年3月期	4,600,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	一株	2020年3月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	4,640,727株	2020年3月期3Q	一株
------------	------------	------------	----

(注) 1. 当社は、2019年8月9日付で普通株式1株につき1,000株、2020年9月4日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

2. 2020年3月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数（四半期累計）は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)における我が国経済は、世界的に蔓延している新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、依然として厳しい状況にあります。緊急事態宣言解除後の経済活動再開やGoToトラベル等の経済対策による押し上げ効果があったものの、同感染症の再流行に伴い、景気の回復ペースは鈍化した状況が続いております。

当社の事業を取り巻く環境は、ネット上での販売商品の多様化、市場参加者の増加、物流事業者による配達時間の大幅な短縮化、スマートフォンの普及、SNSによる情報流通量の増加等を背景に引き続き順調な市場拡大が見込まれております。富士経済が公表した「ECプラットフォームとの共存を模索するメーカーの通販チャンネル戦略」によると、2014年ECプラットフォーム市場3.1兆円、自社EC市場3.0兆円とほぼ同等の市場規模でしたが、2015年を境に、その後の物販系EC市場規模の成長は、ECプラットフォーム市場が牽引しています。ECプラットフォーム市場は、2015年3.6兆円から2019年6.7兆円と、5年間で185.1%の成長に対して、自社EC市場は、102.7%とほぼ横ばいとなっております。このことから、今後もECプラットフォーム市場がEC市場の拡大を牽引していくと考えられます。

また、当社が属するEC市場においては、新型コロナウイルス感染防止の観点から消費動向もオンライン化が進んでおり、当社のEC支援に対して引き続き高いニーズをいただいております。

このような環境の中、ECマーケットプレイスサービスにおきましては、ECプラットフォームによる年末のセールによる需要もあり、堅調に推移しました。また、EC業務全般を支援しているECマーケティングサービスにおきましても、EC事業に注力される企業から当社サービスに関するニーズが増え、支援先案件数が増加していることから、契約継続に伴うストック売上は順調に伸びております。ECマーケティングサービス売上高に占めるストック売上高比率は、当第3四半期累計期間で88.4%となりました。

これらの結果、ECマーケットプレイスサービスの売上高は5,328,812千円、ECマーケティングサービスの売上高は1,310,085千円となり、当第3四半期の売上高6,638,897千円、営業利益491,999千円、経常利益505,253千円、四半期純利益357,919千円となりました。なお、当社は、第13期第3四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年比較情報については記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は3,540,322千円(前事業年度末比1,622,675千円増加)となりました。これは主に、現金及び預金の増加1,178,320千円およびECマーケットプレイスサービスの売上増加による売掛金が276,939千円増加したこと、ECマーケットプレイスサービスの売上増による商品152,141千円の増加によるものであります。固定資産は312,097千円(前事業年度末比30,626千円減少)となりました。

この結果、総資産は3,852,419千円(前事業年度末比1,592,049千円増加)となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は1,426,185千円(前事業年度末比292,140千円増加)となりました。これは主に、仕入増に伴い買掛金が199,961千円増加したことと、未払法人税等126,542千円が増加したことによるものであります。固定負債は758,522千円(前事業年度末比191,450千円減少)となりました。これは主に、長期借入金が191,182千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,184,707千円(前事業年度末比100,690千円増加)となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,667,712千円(前事業年度末比1,491,359千円増加)となりました。これは主に、公募増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ566,720千円、四半期純利益の計上により、利益剰余金が357,919千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2020年12月21日に公表いたしました2021年3月期通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,077,204	2,255,525
売掛金	424,231	701,171
商品	328,461	480,603
仕掛品	6,214	7,558
貯蔵品	4,411	5,775
その他	78,821	95,188
貸倒引当金	△1,700	△5,500
流動資産合計	1,917,646	3,540,322
固定資産		
有形固定資産	65,626	56,537
無形固定資産	92,491	74,651
投資その他の資産		
その他	185,091	181,394
貸倒引当金	△485	△485
投資その他の資産合計	184,606	180,909
固定資産合計	342,723	312,097
資産合計	2,260,370	3,852,419
負債の部		
流動負債		
買掛金	395,536	595,498
1年内返済予定の長期借入金	279,876	254,363
未払法人税等	57,781	184,323
賞与引当金	46,749	35,840
その他	354,100	356,159
流動負債合計	1,134,044	1,426,185
固定負債		
長期借入金	949,466	758,284
その他	506	238
固定負債合計	949,972	758,522
負債合計	2,084,017	2,184,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,500	578,220
資本剰余金	—	566,720
利益剰余金	164,852	522,772
株主資本合計	176,352	1,667,712
純資産合計	176,352	1,667,712
負債純資産合計	2,260,370	3,852,419

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	6,638,897
売上原価	5,028,207
売上総利益	1,610,690
販売費及び一般管理費	1,118,690
営業利益	491,999
営業外収益	
受取利息	10
助成金収入	3,168
補助金収入	33,336
その他	2,567
営業外収益合計	39,083
営業外費用	
株式公開費用	18,209
支払利息	4,713
その他	2,907
営業外費用合計	25,830
経常利益	505,253
特別利益	
保険返戻金	24,353
特別利益合計	24,353
税引前四半期純利益	529,606
法人税、住民税及び事業税	199,509
法人税等調整額	△27,822
法人税等合計	171,687
四半期純利益	357,919

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年12月21日に東京証券取引所マザーズに上場し、上場にあたり2020年12月18日に公募増資による払込を受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ566,720千円増加しました。この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が578,220千円、資本剰余金が566,720千円となっております。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントはECワンプラットフォーム事業の単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント別の記載は省略しております。

(重要な後発事象)

(第三者割当による新株式の発行)

当社は、2020年11月16日及び2020年12月1日開催の取締役会において、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、みずほ証券株式会社が当社株主である坂本守より借り入れる当社普通株式の返還に必要な株式を取得させるため、同社を割当先とする第三者割当による新株式発行を決議し、2021年1月20日に払込が完了しております。

①募集株式の種類及び数	当社普通株式 210,000株
②割当価格	1株につき 1,416.80円
③資本金組入額	1株につき 708.40円
④割当価格の総額	297,528千円
⑤資本金組入額の総額	148,764千円
⑥払込期日	2021年1月20日
⑦募集方法	第三者割当(オーバーアロットメントによる売出し)
⑧資金の使途	①運転資金(仕入資金、採用費及び人件費)及び②設備投資資金、並びに③借入金返済に充当する予定であります。